

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回飯塚市公民館運営審議会
開催日時	令和3年7月14日(水) 午後2時00分～午後3時00分まで
開催場所	中央公民館 4階 学習室401
出席委員	下田 稔、津野 真須美、渡邊 秀人、白土 正敏、小池 千津子、吉田 直樹、荒木 尚友、池本 武富士、田中 英美、平野 善清、堀江 鈴子 以上11名
欠席委員	福澤 達男、城戸 千秋
事務局職員	生涯学習課長 安藤 孝市 生涯学習課長補佐 平田 隆輔 生涯学習課 中央公民館・図書館係長 村岡 剛 生涯学習課 中央公民館・図書館係 面高 里奈 田中 昌紀

会議内容	<p>審議に入る前の経過 定刻に至り、事務局より開会を告げた後、審議に入る前に以下の進行を行った。</p> <p>(1) 新委員紹介・委嘱状交付 (改選時期ではないが、人事異動等により3名の委員が変更) (本来ならば委嘱状は手渡しで交付するが、今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から、机上に用意した。)</p> <p>(2) 教育委員会挨拶 安藤生涯学習課長からのあいさつ</p> <p>(3) 副委員長を選出 (委員変更により欠員となっていた。) 立候補者なし⇒事務局提案(異議なし) 副委員長に津野委員を事務局が提案する。 ⇒異議なし 津野新副委員長あいさつ</p> <p>(4) 本審議会の運営について 「飯塚市公民館運営審議会」の設置及び開催根拠を社会教育法(抜粋)及び飯塚市公民館条例(抜粋)にて説明</p> <p>【議 題】 以下の議事は下田委員長が進行</p> <p>(前段)「飯塚市公民館運営審議会」の設置及び開催根拠を社会教育法(抜粋)及び飯塚市公民館条例(抜粋)にて説明</p> <p>(1) 令和3年度飯塚市教育施策要綱について</p>
------	--

要綱の中で、本年度における新設・変更箇所等の説明を行った。【ICTの活用による効果的な学習の推進】については、小中学校へのGIGAスクール構想により児童・生徒1人1台タブレット端末を付与していることで今後生涯学習事業の幅を広げていけないかと考えていることの説明。【就学前教育の充実】については、ある程度生涯学習ボランティアネットワークが定着しつつあることを説明。今後さらに推進していきたい。その他、新型コロナウイルスの影響で中止や延期、減少となった事業が多くあるが、【青少年交流事業・体験活動の充実】とあるとおり、今後の事業展開を検討していきたいと説明

⇒吉田委員より質問

- ① (吉田委員) 要綱には、「子どもたちにとってより良い教育環境の整備を図るため、学校施設を的確に把握し、用途に応じた改造や改築を計画的に進めるよう、学校施設の長寿命化計画に基づく整備に取り組みます。」とあるが、学校施設をチェックして改造することはあったのか?と質問

(生涯学習課長補佐) 所管課が異なるため改めて回答。

- ② (吉田委員) 小中一貫校の計画は他にはあるか?

(生涯学習課長補佐) 建物一体型は現在4校だが、建物一体型でなくとも分離型ということで小中の教育が連結していく形での一貫校教育を進めている。

⇒荒木委員より質問

- ① スタッフ不足を耳にすることがある。片島は小学校が2校あるが、地域活動指導員を配置してほしい。スタッフが足りていない。

(生涯学習課長) 地域活動指導員の説明をさせていただく。地域活動指導員とは、福岡県の補助財源で雇用された人材。合併前の1市4町で雇用されていたものが今も残っている。現在11名雇用しているが、基本的には2名ずつ交流センターに配置されており、1人は人権啓発、1人は社会教育に携わっている。ただ、旧飯塚市内の交流センターには配置がほぼないため、所管課のまちづくり推進課にこのような意見があったことを伝えさせていただく。

(荒木委員) それでは今現在、片島はスタッフが単純に2名少ないということか?

(生涯学習課長補佐) 何人が正解かは難しいが、旧4町には複数小学校が残っている所があり、安定した事業運営のために県の補助を頼っているのが現状。旧飯塚市8地区について何か所か複数小学校が残っている地区があるためそのような意見を聞くことがあった。実際、地域活動指導員か、職員の雇用か、自分には答えられないが、所管課に伝えておく。

- (2) 令和3年度生涯学習課所管事務の概要について

資料を基に説明し、新設である生涯学習ひろば整備担当主査について、その他新型コロナウイルス感染症の影響で生涯学習ボランティアネットワーク事業におけるボランティア派遣数およびブックスタート実

	<p>施率が減少している旨を説明した。⇒質問及び意見なし</p> <p>(3) 令和3年度生涯学習課事業計画について 資料を基に、生涯学習係所管事業、中央公民館・図書館係所管事業を説明し、新型コロナウイルス感染防止のため「飯塚市少年の船」中止の説明。コスモス大学については現在事業中止中であるが、8月下旬に新入学者に対し入学式を行い、9月より再開予定である旨を説明し、質問及び意見を求めた。⇒質問及び意見なし</p> <p>(4) 飯塚市生涯学習体系について 資料を基に説明。本市の生涯学習・社会教育事業については、オンライン化が遅れていることが課題である。そのため、本年度中にオンライン対応講座や、電子申請による申込みの試行を行っていきたい。また、講座のターゲットに偏りがあるため、幅広いライフステージを対象とし事業を行っていく旨を説明し、質問及び意見を求めた。⇒質問及び意見なし</p> <p>(5) その他 ⇒質問等なし</p> <p>以上をもって全ての審議が終了したので、午後3時00分に閉会を告げて解散した。</p>
<p>会議資料</p>	<p>令和3年度第1回 飯塚市公民館運営審議会資料</p> <p>① 会議次第</p> <p>② 飯塚市公民館運営審議会委員名簿・社会教育法（抜粋）・飯塚市公民館条例（抜粋）</p> <p>③ 飯塚市教育施策要綱（令和3年度）について</p> <p>④ 令和3年度 所管事務の概要（生涯学習課）について</p> <p>⑤ 令和3年度 生涯学習関係事業計画について</p> <p>⑥ 飯塚市の生涯学習体系及び同ライフステージ別事業について（令和3年3月作成）</p>
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	